

## 年間第16主日の説教

金 大烈 神父 2009年7月19日(日)

### 《神様は全ての事をご覧になっている》

おはようございます。

今日も暑いですね。

面白い話を皆さんと分かち合いたいと思います。ある田舎の教会に広い空き地がありました。その小教区の司祭は、この土地に実の付く木を植えようと考えて、果物の木を植えました。木はどんどん大きくなり、実も付きはじめました。しかし毎年実が熟す前に、村のいたずらな子供たちが全て採って食べてしまいます。その司祭と教会の人達は、子供達が実を食べてしまう事は構わないが、実が赤く熟す前に食べてしまう事に頭を痛めていました。そしてその司祭は『神様どうしたらいいのでしょうか。』と聖堂で祈り、忠告の立札をたてようと思いつきました。そしてその立札に「神様は全ての事をご覧になっています。」と大きい字で書きました。その司祭はこれで子供達にも気持ちが通じて、いたずらをしないで、今晚は何も起こらず、果物も採られないだろうと安心していました。しかし朝になると果物は一つ残らずなくなっていました。そして立札に書いた「神様は全ての事をご覧になっています。」の文章の下に「神様は絶対秘密を守って下さいます。」と書いてあったそうです。

皆様、「神様は全ての事をご覧になっています。」この言葉信じますか？そして「神様は絶対秘密を守って下さいます。」この言葉も信じますか？信じますよね。この2つの言葉は正しい言葉です。そして必ず秘密を守って下さる、それも皆様が信じていい言葉です。

この2つの言葉の中で私達が悟るべき話は、私達は隠したい部分を必ず持っています。それは誰によってではなく、自分が認める事です。そしてあえて秘密を守って下さると言う意味は、神様は私達の命が終わるまで、機会・チャンスを下さっている事です。それはいつも反省する事、悔い改める事が出来る機会が私達に与えられていると言う事です。神様は私達の恥を隠してくださっていると思います。

しかし大切な事はその心の痛みをどのように解決し、癒せるのかを私達が考えなくてはいけない事だと思います。反省、そして悔い改めと言う言葉は、他人や他の事によって出来る事ではありません。これは自分、そしてそれを悟らせて下さる神様の恵みによってわかる事です。

皆様、私達は機会・チャンスの中で生きています。必ず守って下さる神様の御心を考えてみましょう。私達がどのように心の痛みが取れるようになるかについて、いつも向き合っていて考えてみましょう。それが解決出来なかったら、私達は幸せな笑顔を見せる事は出来ません。またその反省が出来ても次の罪を犯します。その罪もイエス様は守って下さいます。きっと守って下さいます。そのチャンスの中で繰り返して、何回も何回も自分を清めようとする努力の中で生きる事が一番望ましい事だと思います。

もう一度覚えておきましょう。「神様はあらゆる全ての事をご覧になっています。」私の全ての振る舞い、心の動きさえ、神様は全部わかっていると言う事です。更に神様は私達の秘密を守って下さいます。それは私達に自ら悟るように、チャンスを与えてくださっている恵みです。その事を意識しましょう。

ありがとうございました。